

## 市立病院を考える市民集会（要録）

### 1. 開催日時

平成 27 年 7 月 12 日（日） 14 時 00 分～16 時 15 分 場所：野洲文化小劇場

### 2. 参加者

一般参加者 約 350 名、報道機関 5 社

### 3. 開催趣旨

市立病院整備にかかる基本設計予算案の市議会否決を受けて、市民の率直な意見を聞き、今後の方策を見定める。

### 4. 市長あいさつ要旨

今日は一番最新の状況をお伝えするとともに、これからの進め方について、皆さん方から様々なご意見を伺いたいという場です。市からの説明は短くして、あとはご意見と質疑応答で充実した時間を持ちたいと思います。皆さんのご参加をよろしくお願い申し上げます。

### 5. 市の説明内容（別紙資料 1、2、3、4 による）

#### ◆病院事業計画の概要

- これまでの経過と予定
- 市が実施する病院計画の直近の概要
  - ① 市が整備・設置する市立病院。開設当初は市の直営
  - ② 野洲駅南口ロータリー横の未利用の市有地に、商業施設・交流施設と一体的に整備
  - ③ 中軽度の症状に対応し、急性期医療と自宅療養の間を繋ぐ医療機関。在宅医療の後方支援機関
  - ④ 内科、小児科、整形外科、人工透析など 10 診療科
  - ⑤ 病床は 180 床（現野洲病院は 199 床）  
一般病床 100 床、回復期リハ病床 40 床、地域包括ケア病床 40 床
  - ⑥ 整備費用は約 76 億円。主な財源は病院事業債
  - ⑦ 病院事業の収支計画は 16 年目から黒字。減価償却費を除く資金余剰の見通しは 2 年目から黒字
  - ⑧ 病院運営で増える一般会計の負担は毎年約 2 億円と試算

#### ◆病院事業計画の直近の状況と最近の経過

- ① 「基本設計」予算が継続審査となる。3/24
- ② 「基本設計」予算が附帯決議付きで可決。4/28
- ③ 「基本設計」予算が否決。5/28

#### ◆市の考え

〔論点〕 【市の考え】

- ① 〔必要論〕 中核的医療を担う病院が、市内には必要

- ②〔主体論〕 市立病院として市が整備し、市が直接運営すべき
- ③〔経営論〕 病院事業は、市からの赤字補填なしで実施可能
- ④〔立地論〕 野洲駅南口の市有地に整備すべき。
- ⑤〔財政論〕 病院整備は厳しい財政事情の中でも進めるべき優先度が高い事業。また、市財政は破綻するまでの状況ではない。財政健全化には継続して取り組み、更なる実施も検討する。

## 6. 主な意見交換（要録）

**市民1：**野洲市内に総合的な中核病院が必要だというのは、よく理解した。ただ、民間のプロが経営していたにもかかわらず上手く行かなかった病院を、市が経営すれば健全化が果たされるという根拠がもう少し必要ではないか。

立地論について、駅前に出てくるための公共交通機関の状況は。また、駅前にあると優秀なスタッフが確保しやすいとのことだが、駅から離れたところにある他の病院のスタッフは優秀ではないのか？

また、今回、病院を含めた複合施設が駅前に立地するとすると、交通面の安全性、利便性が本当に担保できるのかと思う。

**市長：**民間病院ではあったが、経営に首長や議員など公的な立場の人が関与し過ぎて親方日の丸の病院経営になり、平成23年の状態に至っている。だから民間病院だったのにダメだったとかそういう話ではない。

公共交通は、路線バスが野洲駅を中心に入り、プラス、循環バスが4路線駅へ入っているが、高齢化を視野に路線はまだまだ増やさないといけないと思っている。また、スタッフ確保の問題は、後発の病院なので、できるだけ便利な場所にとという考えであり、滋賀医大も、不便でも医師は行くが便利だったらより良いドクターが集まる、とはっきり言われている。

それと野洲駅前南口は、車と人が交錯していたが今もう改善した。北口も車と人が交錯しているが直す計画。なお今の野洲駅も将来改築が必要になるが、そのとき場所を守山側に振れば北口にも公共の駐車場を設けられる。自由通路を広めにすれば、北口からも病院へ入っていただける。こういうことを考え、できるだけ駅に近い方が好ましいと考えている。

**市民2：**新しい色んな機器を次々と入れていかなければいけないが、予算がいけるか。時代にマッチしたものでないと赤字になる。

**市長：**毎年機器を買い換える必要はないと考えるが、先ほど示した事業費試算の中にも毎年機器の更新で9,000万円ぐらいを充てていくというシミュレーションとなっている。

**市民3：**野洲市に来て37年。野洲病院でお世話になっている。こうして車椅子使いながら走り回ることができている。今回のこの計画は大変うれしい。しっかり財政を考えながら、造りあげていただきたいと思う。ただ、スタッフは官がやると思うが、（・・・自身の公立病院での経験談を述べて・・・）官僚的な経営はやらないでほしい。

**市長** :わかりました。経営については官僚的にならないように、市民主体の病院運営をやります。今、野洲市は全国でも稀だが、学童保育や地域包括支援センターなども直営でやっていて、全国からも注目されている。かなりきめ細かくかつ市民型でサービスをやっているのです、同じような運営で、無駄を省いて市民の立場に立ったサービスを提供していきたい。

**市民4** :事業収支の見込みの根拠はどういう数字か？野洲病院の実績か、人口比で出されたのか。また、この表の中の人件費がこのままで収まるのか。それから交付金で賄うということだが、それ以外にも自前で資金を作る方法を考えコストを引き下げるべきだと思う。

**市長** :事業収支の資料は公開しているが通常の試算をしている。例として平均で 1,700 万円くらいの医師の給与がいるという前提で、人件費とか、様々な経費や管理費を出し、逆に各診療科から上がってくる診療報酬や医業外収入を足したシミュレーションをしている。病院として 1 つのパッケージでシミュレーションしている。なお、今の野洲病院には毎年 1 億を超える支援をしているが、市のポケットマネーでやっている状態。新病院は公立病院となるので、国からの交付金も充てられる。まずは市が責任を持って病院を造って、駅前整備全体の中では民間活力を入れる形で進めたい。

**市民5** :野洲駅前で生まれ育った。今計画されている空き地と駅前ロータリーは、色んな人が立ち退き、先人が苦勞してようやくできた場所。そこへ単純な病院計画、そんな簡単な発想は、私ら駅前で商売をやってきた者は許さない。駅前という所は、商業区域で一番高い税金を取っている場所だ。そこへ、土地が空いたからと言って病院を建てて、商業施設をポコポコと貼り付けたらいいなどとは、何十年掛けて立ち退かした人は怒らる。病院そのものはいい。いい場所考えて整備したらよいのではないか。

**市長** :病院を計画する前、〇〇ビールからあの土地を買わないかという提案があった。当初は、約 20 日間での返答を求められたが、最終的に結論を出すまで 1 年とされ、市民と何回も話しをした。そして市民の多くと市議会が全会一致で賛成されたので、あの土地を 12 億 5,000 万円で買った。そのときオープンにして大議論しているが、質問された方はどういうご意見でしたか？

**市民5** :商業集積をして最も効率のええやり方をしても貰いたい。

**市長** :商業集積に関しては、約 20 年前に（量販店名 1）が駅前で整備したいと買いに来たときに、町が向こう（現存地のこと）へ斡旋している経過がある。

それと（マンション名）の土地も一部は市有地だったが、交換を重ねてすべて〇〇ビールの土地になった。今回の市有地の買収を〇〇ビールが提案してきた際に、平成 17 年のマンションのときは、市に相談せずに、民間に用地を売られたのですかと聞いたら、違います、野洲市に提案しにきたが、すぐに断られました、とのことだった。だから議論にならないまま、今、（マンション名）が建っているが、そのとき、駅前の方はどうおっしゃったのか？このことは全部議会に公開している。

今回の約 1 ヘクタールは、みなさんの意見を確認して、市議会全員の賛成を経て買った。だからここに、5,000 ㎡の病院と色んな交流施設を造ろうということは、すでに了解済のことであると思っている。

**市民6** : 私は病院というのは非常に大事なことから、必要だと認識している。12 億ほどのお金を使って土地を買われたのであれば、当然市民全体に還元が出る施設を造ってほしい。ただ、病院に限っては、やはり中主や遠くから駆けつけようとしたときに、果たして駅前のこの場所が最適かどうか…。また野洲駅に降りたときに、駅前に大きな病院が建っているというのは野洲市民としては非常に寂しい。例えば、銅鐸博物館。ああいった場所であれば国道が走っているし、中主の方や近江富士の方もアクセスできる。それから、森の中でゆっくり療養していただける環境だ。南海トラフなどの災害時、広域避難所という位置付けをするときにも、野洲駅前も果たしてどうか。今の野洲駅前という場所が疑問。

**市長** : 病院の立地場所に関しては、担当が説明した様々な要因から、野洲市に今病院を造るのであれば駅前しかないと思っている。吹田市も岸辺駅の再開発に合わせて市民病院を移すほか、国立循環器医療センターも岸辺駅前に来る。駅が一番人が集まりやすい場所。今市内の他の場所とすると、そこに循環バス網を移動しないといけないし、駅前だとかろうじて残っている路線バスも営業上良くなると期待してくれている。それと医師確保に関して、滋賀医大は、駅前だったらドクターは派遣できるし、喜んで行ってくれるけれど、郊外へ持って行かれたら協力できないと言っている。京大もそういう見解だ。看護師や医療技術者も、市外からは電車を降りてすぐ行けることは魅力なので、一番合理的だと考えている。確かに 100 人の市民が 100 人全員、あの場所がいいと思われないとは思いますが、政策決定としてここまで詰めて基本計画までできている。ご意見としてはお聞きするけれども、計画として駅前で行うことになっている。なお病院は広域避難所ではない。また新病院の機能はサナトリウムや長期療養をするところではなく、急性期と在宅支援の機能である。また、現に野洲市の人口の約 3 分の 2 近くがこの周辺に居るわけだから、これだけの人が交通を要する場所にわざわざ持っていくというのは無駄だ。よほどの理由がない限りは、幸い得られたこの市有地の、内 7 分の 1 を病院用地に充てようという計画で、説明しているとおりである。

**市民7** : この中に市会議員の方がおられると思う。7 月の広報に議会が否決した、とある。この土地を 12 億 5,000 万円で買うとき、我々が市長に託したことは、子どもや孫の代の財産として使ってくださいということだったのではないのか。否決という議会の対応は、どういう考えを持ったものなのか。私ども市民は常識をわきまえており経済にも精通している。これだけは忘れないでいてほしい。先も見えるし読むこともできる。返答は要らない。

**市民8** : 湖南病院で精神科医をしている。医療者としての立場から野洲病院の存続に賛成。当院にとっても、今、野洲病院は非常に大切な病院。精神科の患者が合併症になったときとかに、対応できる病床というのが滋賀県内では非常に少ない。転院に関わっては非常に苦労した経緯があるが、野洲病院には丁寧に受け入れていただいている。最近、野洲病院へ当院のほうから 1 週間に 1 回病棟に入る一方で、当院の病棟で内科的な発症がでたときには気軽に聞ける状況ができています。医療連携として非常にいい形で回っていると思う。今後は、虐待や認知症の問題、学校保健での問題など様々なところで精神科と連携していく機会がさらに増えてくる。野洲病院と連携をモデルとして残していただくと非常に助かるが、市立病院になっ

たあとはどうなのかと心配にも思うので、ぜひ精神科医療のことも考慮に入れていただきたい。

立地のことについては、駅前の利便性が高いのは理解できる。また計画がそこで行われているので今更ということも感じるが、個人的には、湖南病院の周りは土地が空いている。また当院の職員の多くは市内在住で、医師も基本的に公共の交通機関を使うよりは車で移動することが多い。特に看護師などは地域の方が車を使っていることを考えると、職員用の駐車場がかなりの量でいる。駅前のメリットもあるかもしれないが、車で来院しやすいというのも意味のあることで、車のない人には巡回バスを回したりすれば解決すると思う。

**市長** : 湖南病院は県内でもすごく重要な役割を担っていただいている。湖南病院との連携のお話と同様、今の野洲病院はかなりの老人ホーム等の各機関や地域の医療機関の支援をしている。医師会も当初から大賛成であったので、予算が継続審査とされたときも促進する意見書をいただいた。

湖南病院の隣に湖南病院さんが、野洲病院を建てていただいても構わないが、それだと近江八幡の病院とどう違うのですか？といった話にならないか。だから市が考えたのは駅前。立地についてはこれまで議論を積み上げており、よほどのことがない限りこの方針は変わらない。どういう病院にしたいかというご意見をいただいたものとして理解させていただきたい。ありがとうございます。

**市民9** : さっきから人口重点のところ、駅前一番いい立地なのだとおっしゃっているが、駅前にはもっと利益性が高いものをつくるべき。医療機関というのは、人の生活にとって大切だと思うが、今の野洲病院を見ると、ほとんどの方が病院へ車で来られている。駅前には、大型の商業施設を造ってほしい。そういった市を発展させるためのビジョンをやってほしい。新快速電車が停まるいい環境にあるのに、今まで発展していない理由だと思う。だから病院だけじゃなくて、もっと広いビジョンで市の設計を考えてもらいたい。あと、コミュニティバスだが、まったく人が乗っておらず全然価値がない。あんなもので通院できるか。駅前の病院は確かにドクターに来ていただく点では価値があるかも知れないが、みんなのニーズには合っていないと思う。

**市長** : 野洲駅前の過去の経緯については、私が市長に就任してから本当に調べた。すでに経緯は公表しているが、ご意見をいただいたので、あえてお話をします。〇〇ビールの土地をわざわざ闇交換をして市道を造り、そして銭湯ができた。これも公表しているが、なぜ銭湯が造られたかという、土地保有税が1億2,000万円掛かったためこれを免除してもらおうとされたもの。これを以って野洲町は免除したが、本当は10年の定期借家権だから免除できない制度。つまり〇〇ビールは1億2,000万円を野洲市民から儲けている。さらに先ほど言ったマンションの土地は、一部市有地だったが、すべて市有地化するため買わないかという〇〇ビールからの申出をわざわざ断って、逆に一部の市有地も民間に売っている。そして民間が買ったときは、容積率と建ぺい率の関係である土地にはマンションが建てられなかったが、隣の市の土地を、これも密約で開発業者に貸して、県もねじ込んで容積率と建ぺい率をあげることであそこに今マンションが建っている。

それと、過去に(量販店名1)がここに立地したいとしたとき、今現に(量販店1)が建っ

ているところへ誘導してここを空けている。それと議会に公開しているように、〇〇ビールは今のスマイルが建っている野洲の町有地の固定資産税を5～6年間も支払っている。旧の野洲町は町有地に固定資産税を掛けて、それを〇〇ビールが払っている。なぜ〇〇ビールが払っていたかは、闇で交換してもらっているので登記がなく対抗要件がないので怖かったからだと思う。

また、(量販店名 2) のところは、旧の中主町が失敗した工業団地で、毎年まだお金を継ぎ足して返している。(量販店名 2) の幹部に、駅前市の市有地に店を出せないかと聞いたら、橋にも棒にもかかりませんと言われた。なお現の野洲市の都市計画がどうなっているかと言うと、地元調整が着かないからまだお店ができていないが、市三宅・四ツ家の方の永年の要望で、市三宅・四ツ家の17.4ヘクタールを3年前に大規模小売店にする都市計画の区域としている。

このように駅前の土地に関しては、問題がありすぎる。市民が知られたら憤慨されるようなことが当時の市と一部の方との間で起こっている。野洲市は今回の土地の買収で12億5,000万円を払ったが、ほんとはこんなに払う必要はなかった。何回も土地の交換をしており、それをその時点で合わせていったらまず3億円くらい損している。もう1つ大きく損をしているのは、建ぺい率と容積率が元のままだったらもっと安かったのだが、マンションを建てるために容積率と建ぺい率をここだけ変えてしまっている。ただこの額で買うことについては、5年前に市民の皆さんに全部公開して伺っている。そのときの意見は、大規模小売店にしてくれ、というものではなく、市民のためになる施設のために買ってほしいということだった。だから買って、今、全体の3.5haの内の5,000平米を病院、あとは駐車場とか広場、コミュニティセンターにするという全体計画を立てている。野洲市の大規模小売店については、すでに今市三宅・四ツ家に色んな計画が動いているから、今さら駅前に建てることでは矛盾が生じる。なお、市の都市計画は市議会議員も入っている都市計画審議会が決まったものである。

**市民 10 :** (視覚障害者団体名) の会長の〇〇です。立地の話の中で、先ほど、患者も職員もほとんどが車だという話があった。しかし私たち視覚障がいを持った者は、当然車の運転はできない。まして、市からの説明にあったとおり高齢化社会に入り、今後車の運転ができない方も増えてくると当然見込まれる。ほとんどの人が車だろうという発想自体が、ちょっとどうかと感じる。少数かもしれないが、公共の交通機関が充実して駅前にこういった施設ができることは非常に有難いことだ。

**市民 11 :** この資料を見るとメリットばかり。しかし、これに書かれているとおりに行かなかった場合、赤字が続いた場合、そのツケを我々市民が負担するところということになる。こういうことを踏まえて、我々選んだ議員は否決をされたのだと思う。市長はその現実をどう受け止めておられるのか意見を聞きたい。

**市長 :** 議員とは4年間議論してきた。正直言って、反対しておられる理由が私にはホントに分からない。病院がいらないとおっしゃっているのか、駅前がダメとおっしゃっているのか、ホントに分からない。それと、基本構想までは賛成で、基本計画の予算も賛成だったのに、できた

基本計画に基づいて基本設計の予算を出したら継続審議にされた。これは、基本計画作る 3 月 12 日の評価委員会で、県の医療を専門にする次長が「16 年では交付税が付きません」と言われたことに関係していて、後で聞いたら間違ったこと言ったとのことだったが、そういった誘導に操作されていて、市の職員も議員の方も心配になって揺らぎが出たもの。また、市議会はさ迷ってはおられるが完全に否決されてない。だから 5 月の議会に基本計画を 500 万円でもう 1 回基本計画の内容精査をせよということになった。つまり現時点では、市議会の総意は病院に賛成ということだ。野洲市議会は多数決では賛成だということだ。

**市民 12 :** 駅前に住んでいる 40 代男性。私個人的には病院は非常に賛成だが、やはり駅前という立地だけが大きなポイントと考えている。意見は 3 点あり、1 点目はやはり駅前というこの一等地を明るくしていきたいということ。だから病院以外の活用方法の選択肢にないのかということ。2 点目としては、病院も交通の便利な駅に近いところにあるのが望ましいと思う。ただし、少し駅から離れるけれども、駅から歩いて 5 分圏内というような場所であれば立地条件としては大きく変わることはないのではないかという気もしている。ここ以外の候補地はなかったのかなということ。3 点目は、今現時点の駅前の土地の活用法についてで、市民病院を建てるまでの間のこの土地の活用法をお聞きしたい。

**市長 :** 1 点目は、病院は野洲駅南口周辺整備構想の一部であるということで、野洲第 1 子どもの状況を見ながら今後野洲幼稚園を廃止するので、文化ホールを建て替えるか機能拡張するかは別として、文化とか市民活動の場所にしたいということで今構想している。あとは広場と、駐車場は 250 台から 300 台くらいを想定している。2 点目の、病院を他の場所に、という意見だが、病院問題と同じ頃に並行してこの土地の売却の話が出てきたのでここに行き着いている。つまり駅の近くで病院整備のためにゼロから民間の土地を買いに行くというのはリスクが高くハードルが高いということ。幸いにも 1 ヘクタールという土地が入ってきたから、チャンスを活かして、野洲病院からの提案を前向きに活かそうとしているということ。これ以外の土地は考えていない。3 点目はスケジュールが定まらないが、決まれば暫定利用で市民の方に使ってもらえるような便宜を図りたい。今年のおクトーバーフェスタもその例。

**稲垣議員 :** 市議会議員の稲垣といいます。私は今の現在の野洲病院は耐震化して、営業を継続させるということを議会でも繰り返し述べている。私は耐震化が十分可能だと思っている。本日の市の資料に耐震化が必要な建物は築 35 年で、耐用年数は耐震補強をしても更新されないとあるが、知合いの設計会社に相談したところ 65 年はいけると私は見た。先ほど大藤次長から 40 年と言う説明があったがその点どうか。

**市長 :** 野洲病院を耐震化するかしらないか、ということは 4 年前の「あり方検討委員会」で市が責任を持って新たな病院を建てるべき、ということになったもの。また野洲病院を耐震化するかどうかは、民間病院だから、私が答える話ではないと思うのに、稲垣議員は終始それを言っておられる。ただそこを敢えて言えば、今次長なり課長補佐が説明したように、今の時点で、あの老朽化している建物に、お金を出して耐震化する人は居ますか、という議論が出てくる。それ以上は野洲病院の理事会や評議委員会での責任だと思っているので、私からはお

答えしていないということ。

**野洲病院事務部長**：築後 35 年の東館は一番古い建物だが、その東館に、手術室、病棟などのコア部分のほとんどが入っている。そこの耐震構造化をするのに 3 ヶ月間休診せざるを得ない、という確認を平成 17 年の理事会などで行って今日に至っている。このことに関して、今こういう形で議会で議論されていることは病院の幹部として遺憾だ。平成 11 年度に数十億の借金をしたことで、耐震構造化するための蓄え等も今一切ない。数十年前から、病院の減価償却並びに新病院整備に対する資金計上ができていない。だから 4 年前に御上会解散という方針に舵を切った。市民の医療をしっかりと守るという観点で御上会は決断をした。本来、野洲病院が新病院を建てるべきではないかと、という方もいる。しかし、この決断をさせていただいた経緯を、皆さん方にご理解いただきたい。耐震化だけしたらいいと議会で議論されることに非常に憤慨している。地域医療を守るという観点で野洲病院にもご意見をいただき新たな病院を造りあげたい。議員からの先ほどの発言に関しては以上のようなことである点をご了解願いたい。

**市民 13**：固定資産税引上げについては厳しい提案だと思っている。物価が上がっているし、消費税も上がった中で賃金や収入が伸びない状況。こういった中で、固定資産税を今このタイミングで上げることはタイミングとしては良くないのではないかと。市の役割として、市民の生命も大事だが、負担も軽減しながら本来の目的を達成することが大事だと思うので、固定資産税については今のタイミングはどうかと考えている。

**市長**：私は固定資産税を上げるとは言っていない。議会で、継続審議になった上に附帯決議が付いた。ここまで議会在さ迷われるのなら、原点に戻って、野洲市の財政の課題はこういう状況ですよというメッセージを出した。また、固定資産税を上げるという手法は、5 年前に自治会長さんの連名でいただいたもので、都市計画税には反対だが均等な負担だったら賛成という文書に基づいている。これはまだ提案のレベルで決して上げるとは言っていない。

**市民 14**：市長に頑張ってもらって市民病院を早く造って欲しいという、切なる思いを持っている一人だ。今までずっと議会の反対グループの声を聞いてきて、地方自治って何なのかと考えている。地方自治で一番大事なことは、市民の生命、財産を守ること、福祉、教育に力を入れてやっていくということではないのか。生命を守らずして、何が市会議員なのか、と言いたい。病院の経営が赤字だとか言われているが、極端な言い方をすると市立病院が赤字であることに大賛成だ。病院に皆が行かなくてもいいような元気な野洲市民になったら、これほど結構なことはない。国保税もグッと下がるだろう。それと比べたら病院の赤字額など僅かなものだ。私も野洲病院の常連客で、健診もすべて野洲病院にお願いしている。5 万人の市民が居るところに、救急車を受け入れられる中核病院がなくなることを望むようならば、なぜ市会議員やっているのかと言いたい。それと、守山や近江八幡にも病院はあるだろうに、と言う意見もあるが、その論理なら消防署も要らない。119 番かけたら、守山からでも八幡からでも消防車は走ってくる。病院を失うことで、より野洲市民は生命のリスクを負うことになるということだ。何か認識違いされているのではないかと。



自分は自治会の役員をやっていた関係もあって、この検討にも参加して色々議論をしてきたが、今日話していることには、大きな反対も無く、ほとんど全員賛成で今の案になってきている。ここまで進んで来たのに元に戻るの寂しいと思う。

ただ、進めるに当たっては、市長は元気の良いし口もいいほうだから、敵を結構作っておられるような感じがする。われわれの先頭に立って、反対する人を何とか味方に付けるような形で頑張っていたら、一日も早く病院が完成に近づくよう、全力を尽くしていただきたいと思う。

**野洲病院副院長**：野洲病院の内科で働いている。野洲病院はオーナーが居らずオーナーを持ち回りでやっている病院だが、オーナーがいない状況で継続していくということは、困難ではないかということを感じている。耐震の問題でも、強力に引っ張る人がいたらいいが、実現は難しい。市立病院等にならないと存続は難しいと思っている。このように野洲病院が悪くなったのは平成16年の研修医制度の変更が発端で、医師不足が起り明らかに他と差があった。済生会や近江八幡市民病院クラスの病院は、研修医が採れる規模だったので、救命センターをつくってどんどん大きくなっていった。逆にそれ以外の200床規模というのはかなり厳しく、医師を集めるのが大変になって経営が悪化してきた。今は盛り返しているが。端的に言うと、病院の経営は医師の集め方で決まる。医師が集まると必ず経営は良くなる。済生会も近江八幡市民病院も医師が集まる病院になっている。野洲病院も医師が集まる病院にしなくては行けないと常々思っている。そういった中で私が実施したことは、もともと消化器内科医だが消化器を2割くらいにして、内科医の医師不足をカバーするために内科専従医として今やっている。全般的に診られるように舵を切って、外来をほとんどやめて入院を診ている。そうすることで湖南病院や介護施設との連携をし、超急性期病院では嫌がられる認知症の患者も診れるようにした。私は野洲市立病院でそういう医療を創っていきたい。地域のためにこの規模で、高齢者を含め、入院して在宅に帰れるようにしたいと思っている。

**市民 15**：この資料の必要論の中で、中核的医療を担うと書いているが、いったいどこまでの医療を行う病院なのか。高度医療をしてくれると私たちは間違った期待をしていないか。資料のなかでは、高度医療はしないという話になっているが、本当にそれで皆が安心して掛かれて必要な医療がカバーできるのかを確認したいと思う。もう一点、本当に、病院が核に成り得るのか。こういった形で開発を進めるならもっと真剣に考えないといけない。文化スポーツや交流施設は何も付加価値を生み出さない。最後に申し上げたいのは、近江富士団地の隣に工業団地ができたからここに空き地ができており、ここには商業施設を貼り付けるということが当時の町長の話だった。もう少し原点に帰って本当にいい形で、街づくりをしてほしい。駅裏含めて長期的な都市計画の大きな構想を我々市民に伝えて欲しい。

**市長**：病院は、一次、二次、三次と医療の機能が決まっている。今考えている病院は、二次の機能で開業医や診療所では担えない部分を担う病院。現に今の野洲病院は実質的に二次になっていて通院10万、入院5万、救急車が650台入っている。基本的にはその機能が必要で、野洲市民の安心を後退させないようにしようということ。現時点では、野洲病院がおっしゃったが民間病院としては先がない。同等の医療機能を野洲市民が持てるのか持てないのか、

持てるのなら、一番いい形で持とうという議論をしている。それと商業機能は、□□銀行から、隣の土地を野洲は一回買って、また〇〇ビールに交換で渡して、そしてもう一回野洲が〇〇ビールから高いお金で買い戻している。何をしようとしていたのか。(量販店名 1) は立地しようとして一生懸命にされたが、野洲町は向こうに立地させるためにこの値段をふっ掛けた。実際(量販店名 1) は、抱き合わせで今の平面駐車場の土地もいずれ商工会が使うからという前提で、買わされている。そして中途半端に行き止まりのあの道も何億円も掛けてわざわざ町が造った。

4 年前にこの土地を買おうとしたときの議論では、市民が豊かに安全に安心できるまちづくりに使いましょうということになった。商業施設ではボタンが掛け違ってくる。だからその七分の一を病院という市民のための重要な機能に使おうということ。

**市民 17 :** 反対・賛成色々あるが、私は賛成。やはり人の命は重要だと思っている。私は市長に、反対派は何が反対かを聞かれて、それで説得されて市民病院を造れるように頑張ってください。市会議員の方も、一体何が反対なのか、市民病院を作るのが反対なのか、赤字になるのが反対なのか、それとも費用がないからアカンというのか、はっきり市長に申し立てられ、お互いに接点を見出されるようにしていただいて、何とか市民の声が反映できるようにしていただきたいと思う。

**市民 18 :** 駅前に住んでいる 30 代の主婦です。駅前に病院が建って収支計画が二年目から黒字って書いてあったので、本当かなと聞きたくて今日参加したが、立地のことであったり、医師の方がこういう病院を造りたいという意見をおっしゃっておられたりで、議論が煮詰まってないのかなという印象を受けた。市長も一生懸命やられているとは思いますが、もうちょっと市民の声を受けながら、色んな意見が詰まった対案を考えながら進めていって欲しいと思った。

**市長 :** 冒頭での 40 分で説明したとおり、市としてはこれまで十分議論を尽くしており、パッケージ化して政策を進めている。今日だけの情報でおわかりと思うが、進め方の問題ではなくて、病院について反対なのか賛成なのか、場所がどうなのかについて、最後に発言してもらったのだから、もう少しご自身の意見をいただきたいが。

**市民 18 :** 今の野洲病院が続いてくれれば良いなと思っている。